

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 26 日

上場会社名 日立建機株式会社 上場取引所 東証・大証第一部
 コード番号 6305 URL <http://www.hitachi-kenki.co.jp>
 代表者(役職名) 執行役社長(氏名) 木川 理二郎
 問合せ先責任者(役職名) コミュニケーション部長(氏名) 石井 史郎 TEL (03) 3830 - 8065

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	206,724	19.5	23,113	42.5	21,893	65.2	8,860	58.7
19年3月期第1四半期	172,925	40.2	16,219	41.0	13,252	47.6	5,582	89.6
19年3月期	756,453	-	78,352	-	70,010	-	36,502	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	45	47	45	31
19年3月期第1四半期	28	66	28	55
19年3月期	187	43	186	81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	700,148	236,423	29.0	1,042 03
19年3月期第1四半期	561,764	186,448	28.7	826 65
19年3月期	655,326	222,409	29.4	987 56

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,490	9,320	16,070	50,004
19年3月期第1四半期	4,391	5,746	2,276	42,567
19年3月期	24,101	25,834	517	41,074

2. 配当の状況

当社は第 1 四半期末を基準日とした配当を実施していないため、記載を省略しております。

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日）【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中 間 期	432,000	22.8	46,000	29.7	42,300	40.5	21,200	54.7	108	79
通 期	910,000	20.3	96,000	22.5	86,000	22.8	48,000	31.5	246	31

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 内容は、5 ページに記載の 4. その他を参照ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の当社連結グループを取り巻く事業環境は、国内では公共工事は厳しい状況にあります。油圧ショベルの需要は民間設備投資の増加、中古車輸出によりストック調整が引き続き進んだこと、解体や金属スクラップ用などの非土木分野に用途が拡大したことにより増加いたしました。海外においては、北米の住宅建設投資の減少による建設機械の需要減はありますが、総じて世界の景気は拡大基調にあり、建設機械の需要は好調に推移いたしました。当社では、油圧ショベル・ホイールローダの世界需要の伸長に対応するため、昨年12月より茨城県ひたちなか市に油圧機器コンポーネント製造工場の建設を開始し、当年9月より生産開始予定です。また、第3次排ガス規制対応の新型油圧ショベル・ZAXIS-3型シリーズ、新型ホイールローダ・ZWシリーズは、欧州、北米、日本、中国、ロシア等順調に市場導入されております。以下、事業の地域別セグメントごとに業績の概況をご報告いたします。

【日本】

民間設備投資の増加や、油圧ショベルのストック調整が引き続き進んだこと、解体や金属スクラップ用などの応用機に用途が拡大したことにより需要が増加いたしました。売上高としては、511億2千7百万円(前年同四半期比104%)となりました。

【米州】

商業施設などの民間設備投資、ハイウェイなどの公共投資、資源関連のマイニング用機械の需要が好調に推移しましたが、昨年度の間中期以降、住宅建設投資の減少により中小型油圧ショベルの需要が影響を受け、ディア日立コンストラクションマシナリーCorp.の'07年3月末在庫が増加致しました。'07年9月末を目標に在庫調整を行っております。このため、北米の売上高は212億4千9百万円(前年同四半期比56%)、南米を含めた米州売上高は254億4千9百万円(前年同四半期比62%)となりました。なお、北米の油圧ショベル需要は対前年同四半期比-20%程度で推移しております。

【欧州・ロシアCIS・アフリカ・中近東】

欧州では、高需要地域であるドイツの建設投資の伸長や、フランスの住宅建設投資の増加による油圧ショベルの需要増、グローバルモデルの新型ホイールローダ・ZWシリーズと、新型油圧ショベル・ZAXIS-3型シリーズの市場導入などにより、売上を伸ばしました。売上高は382億5千8百万円(前年同四半期比150%)となりました。

ロシアCISにおいては、好調な資源需要を背景に、インフラ整備・住宅投資等が増加し、油圧ショベルの需要も伸張しております。現地代理店(TSC社)は拠点を順調に拡大し、アフターサービス(パーツ供給等含む)がユーザより高い評価を得、売上が拡大しております。

アフリカにおいては、鉄鉱石、石炭、金、銅などの鉱物資源採取に使用されるマイニング用機械の需要が伸長し、南アフリカなどの既納地域に加え、ザンビアをはじめとする新しい市場への大型受注も増加しました。

中近東においては、オイルマネーの還流によるインフラ整備やプラント建設などの増加により、油圧ショベルやクレーンなどの需要が引き続き伸長いたしました。

以上、ロシアCIS・アフリカ・中近東地域の売上高の合計は、211億4千8百万円(前年同四半期比139%)となりました。

【豪州・アジア】

豪州・アジアについては、タイ国内の一時的な需要の減少の他は、インドネシアの需要の回復・伸長、マレーシアのパームツリー・プランテーション需要にともない、全域にわたり油圧ショベルの需要は好調に推移しています。中でもインドでは、インフラ整備などによる需要の伸長に対応し、第三工場の建設計画をすすめております。マイニング用機械の需要も、オーストラリア・インドネシア等を中心に好調に推移しました。豪州・アジアの売上高は364億6千2百万円(前年同四半期比139%)となりました。

【中国】

中国では、春節明けの油圧ショベル需要が好調に推移したこと、需要地域も華東をはじめとする沿海部のみならず、インフラ整備等の需要が全土にわたり伸長しました。昨年11月より発売開始した第3次排ガス規制対応の油圧ショベル・ZAXIS-3型に加え、当年6月から発売した中国専用モデルとして開発された新型ミニショベルZX-60も、お客様にご好評いただき、売上を伸ばしており、売上高は342億8千万円(前年同四半期比220%)となりました。

販売先地域別売上高

(単位:百万円)

	当 四 半 期 (平成20年3月期第1四半期)		前 年 同 四 半 期 (平成19年3月期第1四半期)		前年同四半期比較		
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高増減額	対前年同期比増減率(%)	
米 州	25,449	12.4	41,166	23.8	15,717	38.2	
欧 州 ・ ロ シ ア	欧 州	38,258	18.5	25,600	14.8	12,658	49.4
	ロシアCIS・ アフリカ・中近東	21,148	10.2	15,235	8.8	5,913	38.8
CIS・アフリカ・中近東	59,406	28.7	40,835	23.6	18,571	45.5	
豪州・アジア	36,462	17.6	26,287	15.2	10,175	38.7	
中 国	34,280	16.6	15,575	9.0	18,705	120.1	
小 計	155,597	75.3	123,863	71.6	31,734	25.6	
日 本	51,127	24.7	49,062	28.4	2,065	4.2	
計	206,724	100.0	172,925	100.0	33,799	19.5	

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は500億4百万円となり、前期末より89億3千万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動の結果増加した資金は14億9千万円となり、前年同四半期43億9千万円の増加に比べ29億百万円減少しました。前年同四半期に対する増加要因としては、税金等調整前当期純利益が218億9千3百万円と前年同四半期132億5千2百万円に比べ86億4千万円増加したこと、また増産設備投資に伴い減価償却費が69億5千万円と前年同四半期に比べ17億千万円増加したこと、また売上高が増加したにも拘らず受取手形及び売掛金が114億7千3百万円減少し、前年同四半期70億8千9百万円の減少に比べ43億8千4百万円さらに圧縮が図れたことが挙げられます。減少要因としては、たな卸資産が184億7百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が59億7千3百万円減少したこと、また法人税等の支払額が増加したこと等があります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動の結果減少した資金は93億2千万円と、前年同四半期57億4千6百万円の支出に比べ35億7千4百万円支出が増加しました。これは、各製造拠点における増産対応の設備投資を中心とした有形固定資産の取得による支出が、65億6千8百万円と前年同四半期に比べ13億6百万円増加したことに加え、英国の代理店であるヘビーコンストラクションマシナリーLtd.等連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(純額)19億4百万円があったことによります。これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと、投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは78億3千万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動では160億7千万円の増加となりました。これは、当第1四半期の運転・設備資金、並びに長期借入金の返済38億2千7百万円、配当金の支払い35億8千7百万円等に充当するため、短期借入金を231億4千2百万円、長期借入金を10億7千百万円調達したためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関する事項につきましては、本日平成19年7月26日公表の「平成20年3月期中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準：法定実効税率を用いた簡便法により計算しております。

その他影響が軽微なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期末 平成20年 3月期 第1四半期末	前期末 平成19年 3月期末	前期末 比較増減 (は減)	前年同四半期末 平成19年 3月期 第1四半期末	科 目	当四半期末 平成20年 3月期 第1四半期末	前期末 平成19年 3月期末	前期末 比較増減 (は減)	前年同四半期末 平成19年 3月期 第1四半期末
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産					流動負債				
1.現金及び預金	50,009	41,079	8,930	42,544	1.支払手形及び買掛金	162,849	159,529	3,320	127,682
2.受取手形及び売掛金	186,019	194,180	8,161	161,204	2.短期借入金	108,729	87,768	20,961	80,431
3.たな卸資産	199,613	173,335	26,278	148,605	3.コマーシャルペーパー	10,000	5,000	5,000	5,000
4.その他の流動資産	40,255	37,774	2,481	28,906	4.一年以内に償還予定の社債	10,600	10,600	0	600
5.貸倒引当金	7,440	7,061	379	8,737	5.その他の流動負債	79,112	77,519	1,593	61,231
流動資産合計	468,456	439,307	29,149	372,522	流動負債合計	371,290	340,416	30,874	274,944
固定資産					固定負債				
1.有形固定資産					1.社債	15,000	15,000	0	25,600
(1)賃貸用営業資産	33,152	33,010	142	27,157	2.長期借入金	45,810	47,542	1,732	50,618
(2)建物及び構築物	39,356	37,955	1,401	34,290	3.退職給付引当金	12,248	12,410	162	12,802
(3)機械装置及び運搬具	30,307	28,015	2,292	22,946	4.その他の固定負債	19,377	17,549	1,828	11,352
(4)土地	46,906	46,297	609	45,078	固定負債合計	92,435	92,501	66	100,372
(5)その他の有形固定資産	14,831	12,533	2,298	8,926	負債合計	463,725	432,917	30,808	375,316
有形固定資産合計	164,552	157,810	6,742	138,397	(純資産の部)				
2.無形固定資産					株主資本				
(1)ソフトウェア	6,639	5,938	701	5,069	1.資本金	42,640	42,636	4	42,629
(2)その他の無形固定資産	9,828	4,313	5,515	1,278	2.資本剰余金	42,147	42,143	4	42,137
無形固定資産合計	16,467	10,251	6,216	6,347	3.利益剰余金	108,239	102,124	6,115	74,019
3.投資その他の資産					4.自己株式	2,096	2,153	57	1,827
(1)投資有価証券	30,036	27,801	2,235	25,993	株主資本合計	190,930	184,750	6,180	156,958
(2)その他の投資その他の資産	22,082	21,588	494	19,642	評価・換算差額等				
(3)貸倒引当金	1,445	1,431	14	1,137	1.その他有価証券評価差額金	2,786	2,299	487	2,348
投資その他の資産合計	50,673	47,958	2,715	44,498	2.繰延ヘッジ損益	190	120	310	251
固定資産合計	231,692	216,019	15,673	189,242	3.為替換算調整勘定	9,540	5,224	4,316	1,453
資産合計	700,148	655,326	44,822	561,764	評価・換算差額等合計	12,136	7,643	4,493	4,052
					新株予約権	170	122	48	-
					少数株主持分	33,187	29,894	3,293	25,438
					純資産合計	236,423	222,409	14,014	186,448
					負債・純資産合計	700,148	655,326	44,822	561,764

(注) 1 当四半期末、前期末、前年同四半期末の順で記載しております。

2 比較増減は、当四半期末と前期末との比較で表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	前年同四半期比	前 期
	〔平成20年3月期〕 第1四半期	〔平成19年3月期〕 第1四半期		〔平成19年3月期〕
			%	
売 上 高	206,724	172,925	120	756,453
売 上 原 価	147,672	126,015	117	549,453
割賦販売利益繰延前売上総利益	59,052	46,910	126	207,000
割賦販売利益繰延差額	241	312	-	159
売 上 総 利 益	59,293	46,598	127	207,159
販売費及び一般管理費	36,180	30,379	119	128,807
営 業 利 益	23,113	16,219	143	78,352
営業外収益				
1. 受 取 利 息	1,193	271	440	2,318
2. 割 賦 販 売 受 取 利 息	186	233	80	692
3. 受 取 配 当 金	90	64	141	231
4. 持 分 法 に よ る 投 資 利 益	76	0	-	400
5. そ の 他	644	930	69	3,945
営業外収益合計	2,189	1,498	146	7,586
営業外費用				
1. 支 払 利 息	1,119	909	123	3,949
2. た な 卸 資 産 処 分 損	241	353	68	1,221
3. た な 卸 資 産 評 価 損	108	17	-	574
4. 為 替 差 損	477	1,234	39	5,591
5. 持 分 法 に よ る 投 資 損 失	0	741	-	0
6. そ の 他	1,464	1,211	121	4,593
営業外費用合計	3,409	4,465	76	15,928
経 常 利 益	21,893	13,252	165	70,010
特別利益				
1. 固 定 資 産 売 却 益	0	0	-	839
2. 海 外 子 会 社 清 算 に 伴 う 利 益	0	0	-	1,423
特別利益合計	0	0	-	2,262
特別損失				
構 造 改 善 費	0	0	-	2,191
特別損失合計	0	0	-	2,191
税金等調整前四半期 (当期)純利益	21,893	13,252	165	70,081
法 人 税 等	10,213	6,833	149	27,549
少 数 株 主 利 益	2,820	837	337	6,030
四 半 期 (当 期) 純 利 益	8,860	5,582	159	36,502

(注) 1 当四半期、前年同四半期、前期の順で記載しております。
2 前年同四半期比を記載しております。

（3）（要約）四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（平成20年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	42,636	42,143	102,124	2,153	184,750	2,299	120	5,224	7,643	122	29,894	222,409
当四半期中の変動額												
新株の発行	4	4			8				0			8
剰余金の配当			2,727		2,727				0			2,727
四半期純利益			8,860		8,860				0			8,860
自己株式の取得				14	14				0			14
自己株式の処分			18	71	53				0			53
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					0	487	310	4,316	4,493	48	3,293	7,834
当四半期中の変動額の合計額	4	4	6,115	57	6,180	487	310	4,316	4,493	48	3,293	14,014
平成19年6月30日残高	42,640	42,147	108,239	2,096	190,930	2,786	190	9,540	12,136	170	33,187	236,423

前年同四半期（平成19年3月期 第1四半期）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	42,626	42,133	70,392	1,876	153,275	2,730	-	1,168	3,898	-	24,996	182,169
当四半期中の変動額												
新株の発行	3	4			7				0			7
剰余金の配当			1,948		1,948				0			1,948
四半期純利益			5,582		5,582				0			5,582
自己株式の取得				4	4				0			4
自己株式の処分			7	52	45				0			45
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					0	382	251	285	154		442	596
当四半期中の変動額の合計額	3	4	3,627	49	3,683	382	251	285	154	-	442	4,279
平成18年6月30日残高	42,629	42,137	74,019	1,827	156,958	2,348	251	1,453	4,052	-	25,438	186,448

前期（平成19年3月期）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	42,626	42,133	70,392	1,876	153,275	2,730	-	1,168	3,898	-	24,996	182,169
連結会計年度中の変動額												
新株の発行	10	10			20				0			20
剰余金の配当			4,673		4,673				0			4,673
当期純利益			36,502		36,502				0			36,502
自己株式の取得				841	841				0			841
自己株式の処分			97	564	467				0			467
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					0	431	120	4,056	3,745	122	4,898	8,765
連結会計年度中の変動額の合計額	10	10	31,732	277	31,475	431	120	4,056	3,745	122	4,898	40,240
平成19年3月31日残高	42,636	42,143	102,124	2,153	184,750	2,299	120	5,224	7,643	122	29,894	222,409

（注）当四半期、前年同四半期、前期の順で記載しております。

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	前期 〔平成19年3月期〕
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	21,893	13,252	70,081
2. 減価償却費	6,950	5,239	24,215
3. 貸倒引当金の増減額	247	720	2,215
4. 受取利息及び受取配当金	1,283	335	2,549
5. 支払利息	1,119	909	3,949
6. 持分法による投資損益	76	741	400
7. 受取手形及び売掛金の増減額	11,473	7,089	20,803
8. たな卸資産の増加額	18,407	13,522	26,285
9. 賃貸用営業資産の取得による支出	1,883	1,746	19,328
10. 賃貸用営業資産の売却による収入	1,193	409	3,809
11. 支払手形及び買掛金の増加額	5,973	4,155	20,329
12. 有形固定資産売却益	1,064	294	3,289
13. その他	1,122	5,234	1,947
小 計	13,067	12,101	45,567
14. 法人税等の支払額	11,577	7,710	21,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,490	4,391	24,101
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期預金への預入れ	0	39	47
2. 定期預金の償還	0	52	462
3. 有形固定資産の取得による支出	6,568	5,262	24,336
4. 有形固定資産の売却による収入	180	159	1,222
5. 無形固定資産の購入	1,495	1,016	4,999
6. 投資有価証券の取得による支出	641	42	1,127
7. 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(純額)	1,904	0	0
8. 利息及び配当金の受取額	1,257	308	2,397
9. その他投資に関する支出(純額)	149	94	594
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,320	5,746	25,834
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純増減額	23,142	7,519	23,448
2. 長期借入れによる収入	1,071	1,434	12,308
3. 長期借入金の返済による支出	3,827	3,436	24,881
4. 社債の償還による支出	0	0	600
5. 利息の支払額	776	875	3,996
6. 親会社による配当金の支払額	2,727	1,948	4,673
7. 少数株主への配当金の支払額	860	466	1,488
8. 株式の発行による収入	8	7	20
9. 少数株主よりの株式の発行及び出資引受による収入	0	0	753
10. 自己株式の売却による収入	53	45	467
11. 自己株式の取得による支出	14	4	841
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,070	2,276	517
現金及び現金同等物に係る換算差額	690	331	297
現金及び現金同等物の増減額	8,930	590	919
現金及び現金同等物期首残高	41,074	41,954	41,954
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	0	23	39
現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	50,004	42,567	41,074

(注) 当四半期、前年同四半期、前期の順で記載しております。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期(平成20年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	建設機械事業	産業車両事業	半導体製造 装置事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	187,179	18,964	581	206,724		206,724
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	0	446	455	(455)	
計	187,188	18,964	1,027	207,179	(455)	206,724
営業費用	164,858	17,765	874	183,497	114	183,611
営業利益	22,330	1,199	153	23,682	(569)	23,113

前年同四半期(平成19年3月期第1四半期)

(単位:百万円)

	建設機械事業	産業車両事業	半導体製造 装置事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	155,296	17,062	567	172,925		172,925
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	0	257	263	(263)	
計	155,302	17,062	824	173,188	(263)	172,925
営業費用	139,713	15,822	799	156,334	372	156,706
営業利益	15,589	1,240	25	16,854	(635)	16,219

前期(平成19年3月期)

(単位:百万円)

	建設機械事業	産業車両事業	半導体製造 装置事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	680,855	73,420	2,178	756,453		756,453
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	0	1,302	1,330	(1,330)	
計	680,883	73,420	3,480	757,783	(1,330)	756,453
営業費用	605,634	68,122	3,050	676,806	1,295	678,101
営業利益	75,249	5,298	430	80,977	(2,625)	78,352

(注)1 事業区分は内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

- (1)建設機械事業.....油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダ、クローラクレーン
- (2)産業車両事業.....フォークリフト、トランスファークレーン、コンテナキャリア
- (3)半導体製造装置事業.....超音波探査映像装置、原子間力顕微鏡装置

3 営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用の主なものは、T C M株式会社及びT C M株式会社の連結子会社の管理部門にかかる費用である。